

こんにちは 2017年3月9日 第133号

ちかざわ美樹です

日本共産党 市議会議員活動報告



chikamiki222@gmail.com
☎&fax 042-582-1870
☆自宅: 日野市万願寺 6-35-9
カサベルデ 201
☆ちかざわ事務所(三沢中学校
のそば) 日野市三沢 1-13-5

いつでも、どんなことでもお電話下さい ちかざわ携帯 ☎090-9313-1192

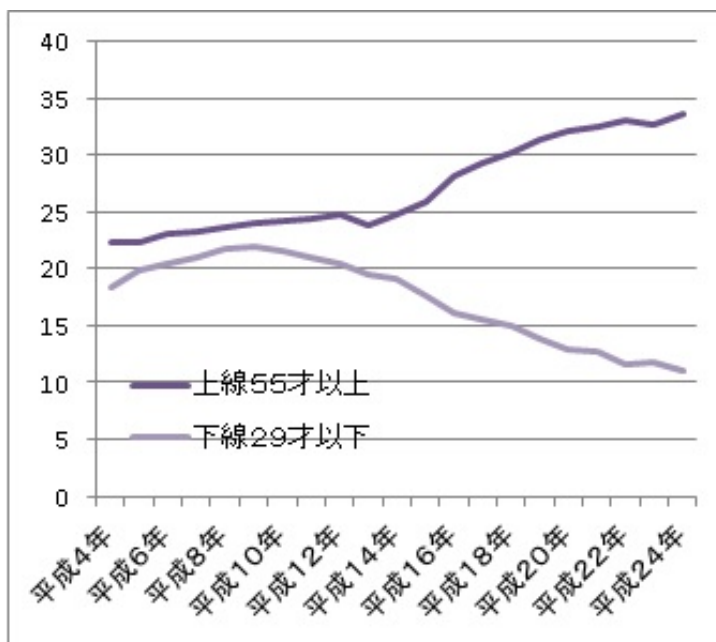
官製ワーキングプア解消へむけて市が公契約条例制定へ

公契約条例制定で地域の好循環を

3月3日(金)、私は「まちじゅうの知恵を集めた公契約条例の制定で地域好循環を」と題した一般質問を行いました。

「公契約条例」とは、地方自治体が委託や請負を依頼した民間事業者と契約をする際にその事業ではたらく人たちの賃金の下限額などを定める条例です。

この間、地方自治体の建設工事や公共サービスの入札などにおいて、際限のないダンピング(採算を度外視した受注)が繰り返され、「官製ワーキングプア」とよばれる状況が生まれてきました。



公共の工事を担う建設業界では、「若い人が働き続けられる賃金が得られない」「新しい働き手がない」と、深刻な高齢化が進行しています。(左図参照。単位は%。総務省労働力調査より)

公平公正な競争で適正な労働条件を

公共サービスをただ「安ければよい」と、価格だけで考えるのではなく、公平で公正な競争を促し、ダンピングを排除し、事業者が労働者に適正な労働条件を確保するよう約束させるのが公契約条例です。この間日本共産党市議団は繰り返し市に条例の制定を求めてきました。

条例の制定を求める関係団体の声や市が行った事業者アンケートで3割を超える要望があったこと、公契約議連の要望書提出などを踏まえて市は現在条例制定にむけて動き出しています。

私は今回の質問では、制定にむけてと、制定後も市内だけでなく関係団体の方々を交えて知恵を出し合うことや、『働く人が生活できる賃金』という考え方で下限額を決めることを求めました。

市長はワーキングプア解消をめざして関係者の知恵を入れて時期も考慮し、条例を作ると答弁しました。

ごみ広域化計画強行は許されません。白紙にして住民と一からの見直しを！

【日本共産党の無料法律相談】 第1.2.3木曜日予約制です

第1.3木曜日 18:00~20:00 第2木曜日 13:00~15:00



「憲法の生きる市政を・日野の会」の拠点がキックオフ！



3月8日（水）「憲法の生きる市政を・日野の会」の事務所がオープンしました。

各界からのいそざき四郎さんへの期待の声が語られ、いそざき四郎さんは、市民生活を無視したこれまでの行政改革路線を転換し、大型道路などの計画への投資をやめて、介護や保育、福祉をまちの産業の中心にする市政をつくることを訴えました。

事務所は神明 3-6-13 溝呂木ハイツ、手塚酒店のはすむかいです。

日本共産党演説会 いよいよ今週末です！

日時：2017年3月12日（日）14：00～16：00

場所：東部会館3階ホール **いそざき市長予定候補がきます！**

おはなしする人：中野あきと市議団長・都議予定候補（右写真）

吉田信夫都議会百条委員会委員・党都議団長、佐藤あや子衆院予定候補、保育（無料）あります。送迎いたします。ご連絡下さい。



日本共産党発行



日刊●月3497円
日曜版●月823円



東京民報は東京がよくわかる週刊新聞、月額400円です。いま大注目の東京都政。他紙には決して掲載されない独自取材のニュースが満載の東京民報。見本紙をご希望の方はすぐお届けします、ご遠慮なくご連絡下さい。

いのちがいらばん

3月8日は国際女性デー。この日のための黒柳徹子さんのメッセージがステキです。「自分は自分、人は人。子どもの頃から、学校でも家庭でも人格を大切にしてもらったお陰で、自分が何ができるかは分からないけど『何かはできるだろう』とずっと思ってきました。人は人って思えたのは、自己肯定感を育ててもらったことが大きかったと思います。私は私。自分でやることは自分でやっていく。女の子たちには、そんなふうに生きてほしいわね。」そんな黒柳さんでも、ニュースショーの司会をしたときに「男の世界だなー」「女の立場が弱いってこういうことを言うんだなあ」と感じたとのこと。「泣き寝入り」しない女性たちが作ってきた道を次に手渡したい。



ちかざわ美樹